

平成27年度島根大学大学院

教育学研究科入試問題（I期）

《教育実践開発専攻 発達臨床コース》

専門科目

注 意

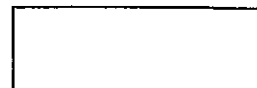
1 問題紙は、指示があるまで開いてはならない。

2 問題紙 1枚、解答用紙 4枚、下書き用紙4枚である。

指示があってから確認し、解答用紙と下書き用紙の所定の欄に受験番号を記入すること。

3 解答は、解答用紙に清書すること。

4 問題紙は、持ち帰ること。



《発達臨床コース》

専門科目 問題

下記の問題1、問題2、問題3の(1)、および問題3の(2)の計4問の中から、2問を選択し答えよ。

問題1. 発達障害児もしくはその傾向のある幼児が、円滑に小学校に入学し、十分な支援をうけるために必要な、幼稚園および小学校における園・校内の体制、および両者の連携手続き・内容に関して具体的に述べよ。なお、解答は解答用紙の1枚目に行い、1000字以上1200字以内で答えること。

問題2. 「注意欠陥多動性障害」、「アスペルガー症候群」と診断された各々の子どもの、幼児期、児童期および青年期における、主要な学習や生活面での困難性の内容、および、その時期に配慮すべき主要点について述べよ。なお、解答は解答用紙の2枚目に行い、1000字以上1200字以内で答えること。

問題3. 乳児期から児童期における発達には「あそび」が重要な位置を占める。この「あそび」に関する下の問に答えよ。

- (1) 小学校での教育の基礎となる認知発達についてあそびの効用を述べよ。また、あそびが円滑になされるためにはどのような環境を整えるべきか考えをまとめよ。なお、解答は解答用紙の3枚目に行い、1000字以上1200字以内で答えること。
- (2) 自我と社会性の発達についての遊びの効用について述べよ。また、仲間集団を育てるために必要な教育者もしくは保育者の関わり方について考えをまとめよ。なお、解答は解答用紙の4枚目に行い、1000字以上1200字以内で答えること。